

# 機器診断

機器診断結果一覧表

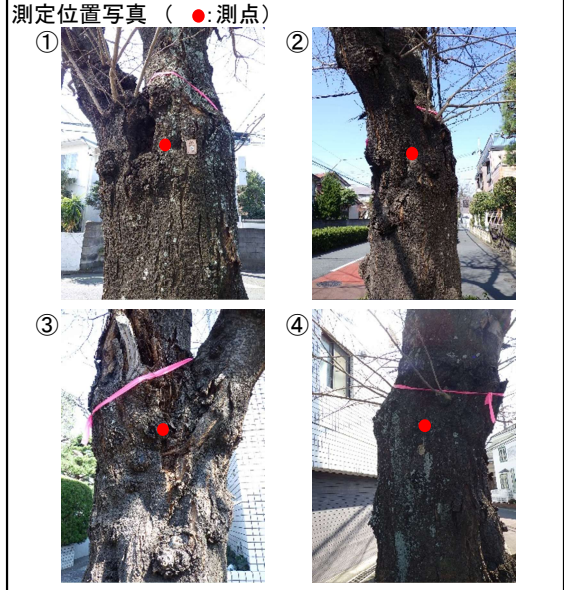
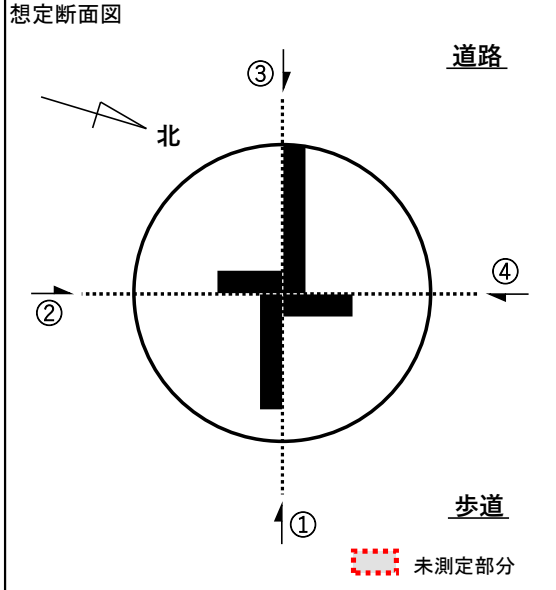
機器診断カルテ

腐朽診断カルテ(レジ)

No. 1

路線名		樹木医名		診断日	
樹木番号		樹種名	サクラ	樹高	12.0 m
				幹周	225 cm
				枝張	8.0 m

測定高さ	1.9 m	測定直径	56 cm	機種名	IML PD500
------	-------	------	-------	-----	-----------

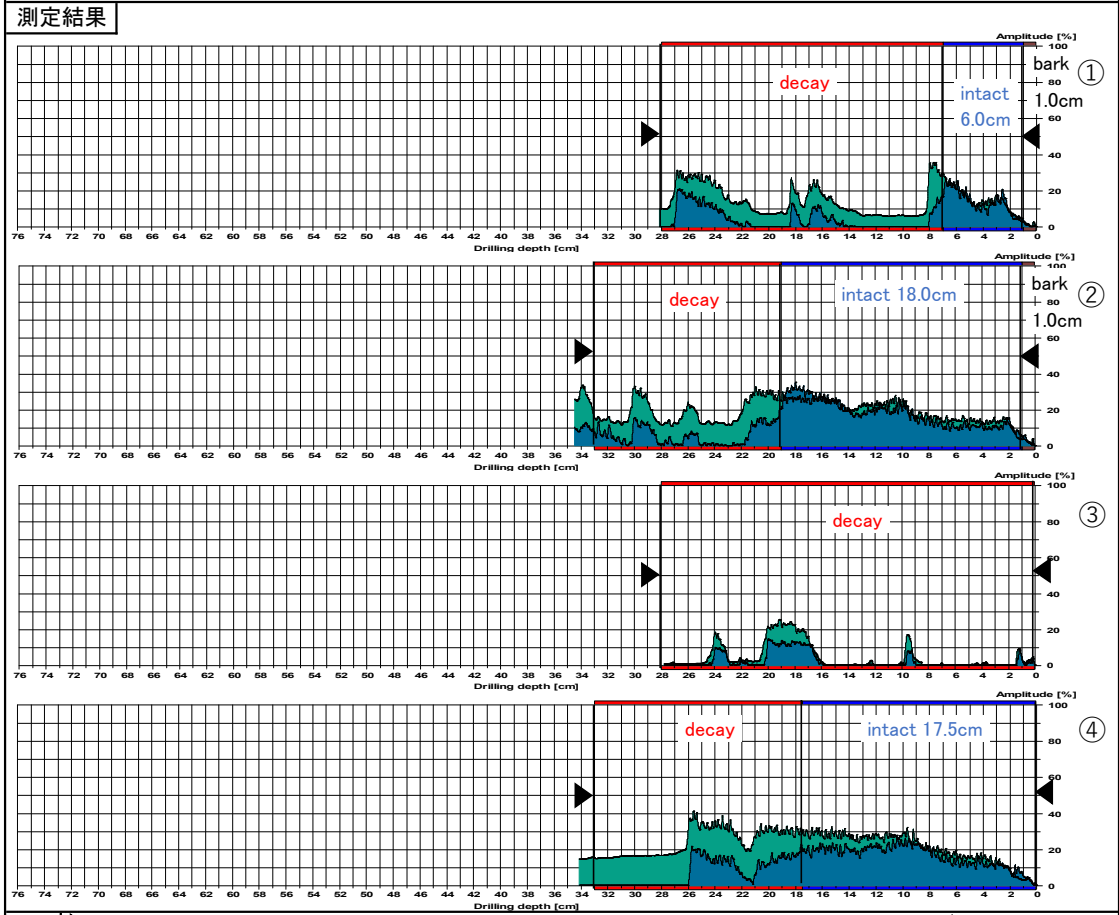


t/R率	各測定方向のt/R率とt/R率の計算式			
	① 0.222	$6.00 / (56.0/2 - 1.0)$	② 0.563	$18.00 / (66.0/2 - 1.0)$
	③ 0.000	$0.00 / (56.0/2 - 0.0)$	④ 0.530	$17.50 / (66.0/2 - 0.0)$

腐朽空洞率 (%)	42.8 %	空洞率計算式	
		$(\frac{56.0 - 1.0 - 0.0 - 6.0 - 0.0}{56.0 - 1.0 - 0.0} + \frac{66.0 - 1.0 - 0.0 - 18.0 - 17.5}{66.0 - 1.0 - 0.0}) \times 2$	

所見

腐朽空洞率は42.8%で、大きな異常値が検出された。t/R率については測定報告①③方向で閾値0.3を超えている。樹皮欠損・枯死部からの折損や倒木の可能性が高いため、風圧軽減剪定が必要である。また、短期周期の継続観察が必要で、撤去・植え替えの検討が望ましい。



凡例 ▶:データの終点 ■:腐朽(空洞)部 bark:樹皮 intact:健全 decay:腐朽(空洞) ◀:データの開始

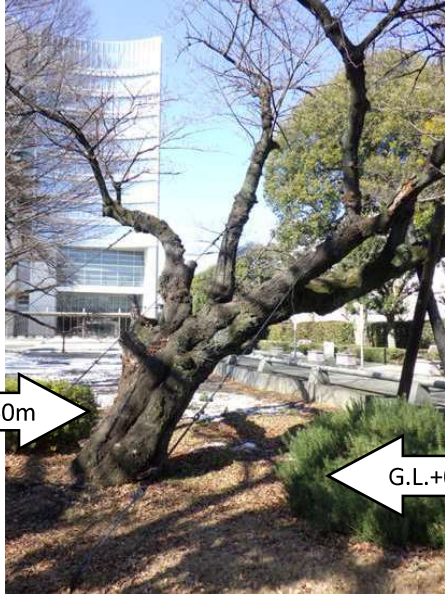
# 腐朽診断カルテ（アーボソニック3D）

No. 1

事務所名

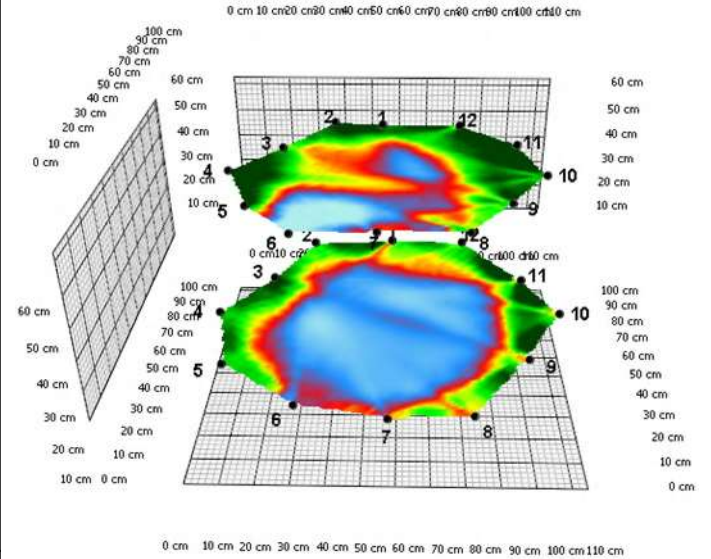
調査地				樹木医名	中村雅俊		診断日		
樹木番号	132		樹種名	サクラ類	樹高：11.0m	幹周：330cm	枝張：12.0m		
測定高さ	0.10m	0.60m	プロブ数	12	機種名	アーボソニック3D			

## 測定位置写真



## 想定断面図(多断面)

▲通路側（北東）



腐朽	G.L.+0.10m	G.L.+0.60m
空洞率(%)	68.0%	49.0%

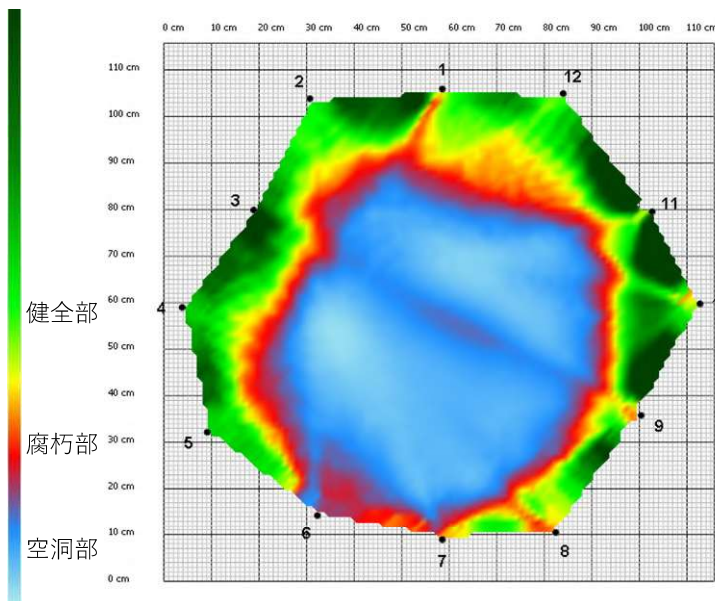
## 所見

根元と幹に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は根元で倒木危険度判定目安である50%を大きく超えており、幹でも迫る値を示している。前回診断時からの変化は確認できず、回復の傾向は見られない。折損・倒木の危険性が非常に高く、存置する場合は重点的な管理が必要な樹木である。

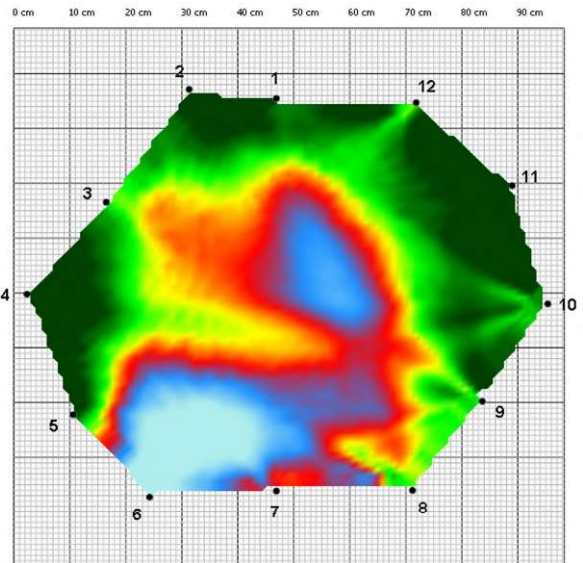
## 想定断面図

▲通路側（北東）

▲通路側（北東）



G.L.+0.10m



G.L.+0.60m

# 腐朽診断カルテ（アーボソニック3D）

No. 2

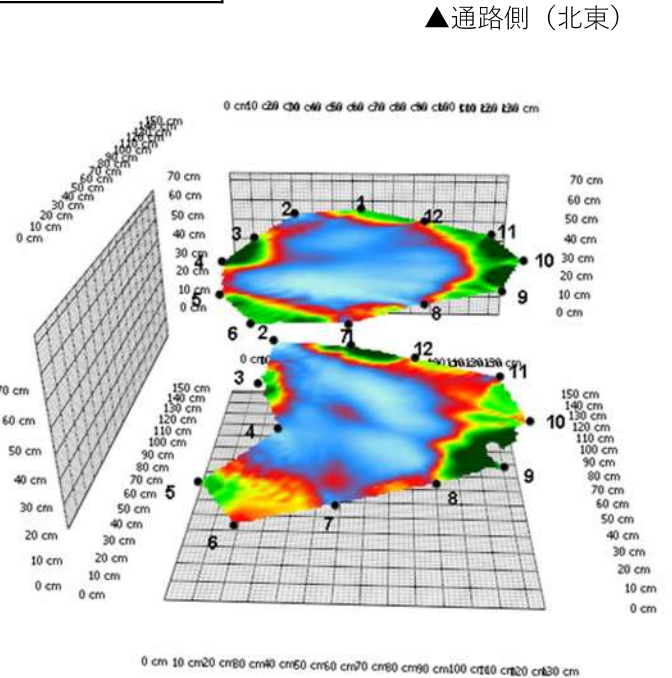
事務所名

調査地				樹木医名	中村雅俊		診断日		
樹木番号	133		樹種名	サクラ類	樹高：15.0m	幹周：392cm	枝張：17.0m		
測定高さ	0.20m	0.70m	プロブ数	12	機種名	アーボソニック3D			

## 測定位置写真



## 想定断面図(多断面)



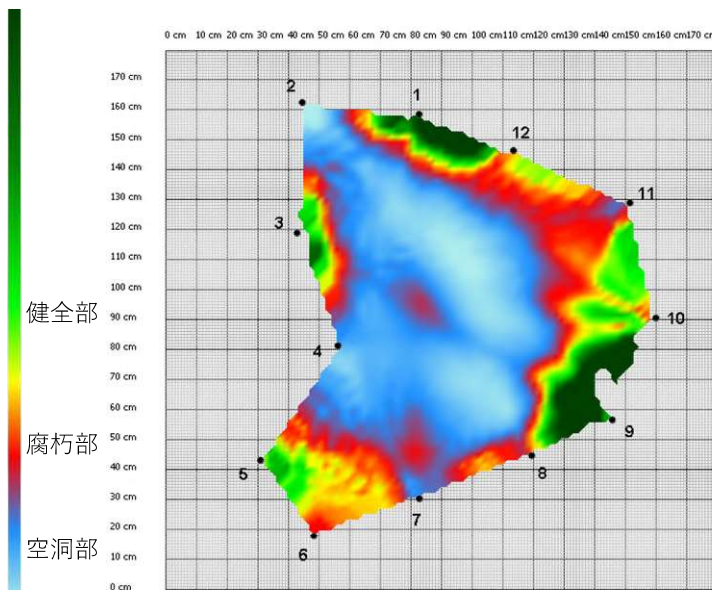
腐朽	G.L.+0.20m	G.L.+0.70m
空洞率(%)	80.0%	76.0%
所見		

根元と幹に極めて大きな異常が確認された。腐朽空洞率は根元と幹ともに倒木危険度判定目安である50%を大きく超えている。前回診断時からの変化は確認できず、回復の傾向は見られない。  
折損・倒木の危険性が非常に高く、存置する場合は重点的な管理が必要な樹木である。

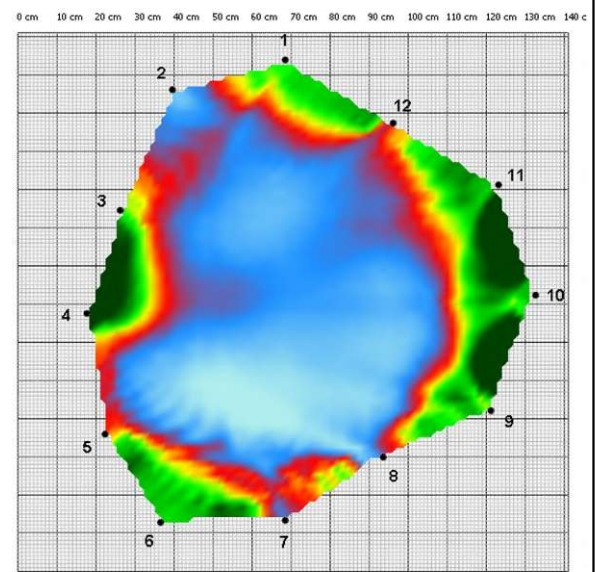
## 想定断面図

▲通路側（北東）

▲通路側（北東）



G.L.+0.20m



G.L.+0.70m

健全部  
腐朽部  
空洞部